

B型肝炎について

13

B型肝炎のウイルスマーカーについて教えてください。

● マーカーの種類

健康診断などで、HBV感染のスクリーニングのために、まず測定するのはHBs抗原です。HBs抗原が陽性の場合、専門医療機関での精密検査を勧める必要があります。

B型肝炎ウイルスマーカーの臨床的意義

HBs 抗原	HBV に感染している (通常 HBc 抗体も陽性) HBs 抗原量は肝細胞中 HBV cccDNA 量を反映
HBs 抗体	HBV の感染既往 (多くは HBc 抗体も陽性) HBV ワクチン接種後 (HBc 抗体は陰性)
HBc 抗体	HBV に感染している (HBs 抗原も陽性) HBV の感染既往 (多くは HBs 抗体も陽性)
HBe 抗原	HBV の増殖力が強い
HBe 抗体	HBV の増殖力が弱い
HBV DNA	HBV の活動性を反映

田中榮司, 池田健次, 泉 並木, 他. 肝疾患における肝炎ウイルスマーカーの選択基準 (4版). 日消誌 2006; 103: 1403-1412.

B型肝炎の評価方法

- ① B型肝炎患者かどうか? : **HBs抗原**
HBs抗原陽性 ⇒ B型肝炎ウイルスに感染している
- ② 次は活動性を評価する : **ALT**
ALT正常 ⇒ キャリア(ウイルスを持っているだけ)
ALT異常(31以上) ⇒ 肝炎
- ③ ウイルスの複製能はどうか? : **HBe抗原・HBe抗体・HBVDNA**
HBe抗原陽性 ⇒ 複製能強い ⇒ HBVDNA多い
HBe抗体陽性 ⇒ 複製能弱い ⇒ HBVDNA少ない(セロコンバージョン)

HBVDNA 3.3 LogIU/ml以上で肝炎がおこる可能性。

*上記の評価法は肝硬変例は除く (ALT, HBVDNA低値例が存在)